

総合療育センターの再整備について保健病院委員会や パブリックコメントでいただいた意見等の検討状況

1 駐車場等

①十分な駐車場の確保が必要であり、増設を検討すべきである。

⇒基本計画では約140台(現在約110台)としていたが、基本設計において平面駐車スペースの活用により、150～160台に増設する予定である。

②エントランスに直接つながる乗降場所において、送迎バスと利用者の車が交錯して危険な場合があるため、乗降場所を分離するか、又は、送迎時間を明確に表示するなどの対応をしてほしい。

⇒送迎バスの乗降は出入が多い1階の正面玄関ではなく、児童用は立体駐車場1階の建物出入口付近、成人用は立体駐車場2階の建物出入口付近での乗降を想定している。また、乗降場所には送迎時間を表示する予定である。

2 外来診療

①待ち時間を過ごしたり、家族・友人等と交流するための、コーヒーやジュース等が飲めるカフェスペースを整備してほしい。

⇒1階外来の待合や中庭に丸テーブルやいすを配置する予定であり、飲料を飲んだり、家族等と交流できるスペースとしてご利用いただきたいと考えている。

3 病棟

①男女別の病室にしてほしい。

⇒個室(109室)が基本であり、2床室(28室)についても男女別の病室とする予定である。

②入所、入院、短期入所の部屋を別々にしてほしい。

⇒入所(長期生活等)と入院(治療等)で病棟を分けるとともに、短期入所(1～3日程度)については専用の病室を設けることとしている。

③各ベッド毎に水道設備を設置してほしい。

⇒各病室(個室又は2床室)ごとに整備する予定である。

4 その他

①利用者本人や家族、センタースタッフの方々等が、明るく快適に過ごせるようにサイン・デザイン・色調等を工夫してもらいたい。

⇒アメニティの視点を踏まえ、実施設計の中で具体的に検討していく。

②おむつ替え場所がトイレと別にあると助かる。また、児童用と成人用が別にあるといい。

⇒利用者が多い1階(外来診療やリハビリ等)においては、スペース上、おむつ替えとトイレ、また児童と成人を別にするのは困難だが、成人にも対応したおむつ替え用のベッドを備えた親子トイレを4箇所設置(現施設2箇所)し、おむつ替えで使用中のトイレ待ちの発生を防ぐこととしている。

③食堂や売店、ATM等を設置してほしい。

⇒食堂は1階の外来近くに設置し、小規模だが売店もその中に設置する予定である。ATMについては、設置の可能性等について引き続き検討していく。

新・総合療育センター（本体）の基本設計（案）

平成26年5月に策定した再整備基本計画を踏まえ、本年度、基本設計を行っている。平成27年1月時点の検討状況は、次のとおりである。

1 建物概要

(1) 建物の主たる構造 鉄筋コンクリート造（地上4階建）

(2) 延床面積 約18,400㎡

(3) 病床数 165床

(4) 駐車場 150～160台

- ・平面駐車場の範囲（スペース）を広げることにより、150～160台程度の駐車スペースを確保する。
- ・平面駐車場（一部を除く）と立体駐車場を一体的に利用できるよう、いずれも敷地北側に配置する。

(5) 階構成

1階：外来診療、リハビリテーション（理学、作業、言語聴覚）、地域支援室（各種相談）、放射線（X線等）、厨房、検査室（脳波、筋電図）、食堂、おもちゃライブラリー

2階：通所（児童・成人）、管理（スタッフ室、医局、会議室等）、薬剤（薬局等）

3階：第1病棟（治療）、第2病棟（長期濃厚医療）、手術室、検査室（検体検査）

4階：第1住棟（主に児童の長期生活）、第2住棟（主に成人の長期生活）

(6) 主な特長

<外来診療>

- ・診察室を現在の9室（カーテンで仕切るなど計11室として使用）から、医師数等を踏まえ、21室に増設する。（隔離診察室を含む。）
- ・待ち時間をできるだけ快適に過ごせるよう、待合に、利用者が交流できるスペースや子どもが遊べる遊戯スペース、中庭等を配置する。

<病棟>

- ・プライバシーへの配慮から、個室を基本とし、特別な看護が必要な入所者用に、一部2床室を配置する。（個室109室、2床室28室）
- ・入所者が長期生活を送る4階の住棟には、ユニットケア方式を導入し、より家庭に近い環境を提供する。

2 今後のスケジュール

平成27年度	実施設計
平成28年度～平成30年度	建築工事
平成30年度中	開所

3 概算事業費 9,589百万円

【内訳】

- ・建築工事費（7,140百万円）
 - ・医療機器購入費（1,316百万円）
 - ・情報システム費（712百万円）
 - ・設計費、解体工事費等（421百万円）
- ※建築工事費については、現在作業中の基本設計において詳細な積算を行うこととしている。

【財源】

- ・社会資本整備総合交付金（1,050百万円）
- ・病院事業債（7,548百万円）
- ・一般財源（991百万円）

4 配置計画

(1) 付近見取図



住所：北九州市小倉南区春ヶ丘10番

(2) 配置図（平成27年1月時点のイメージ）

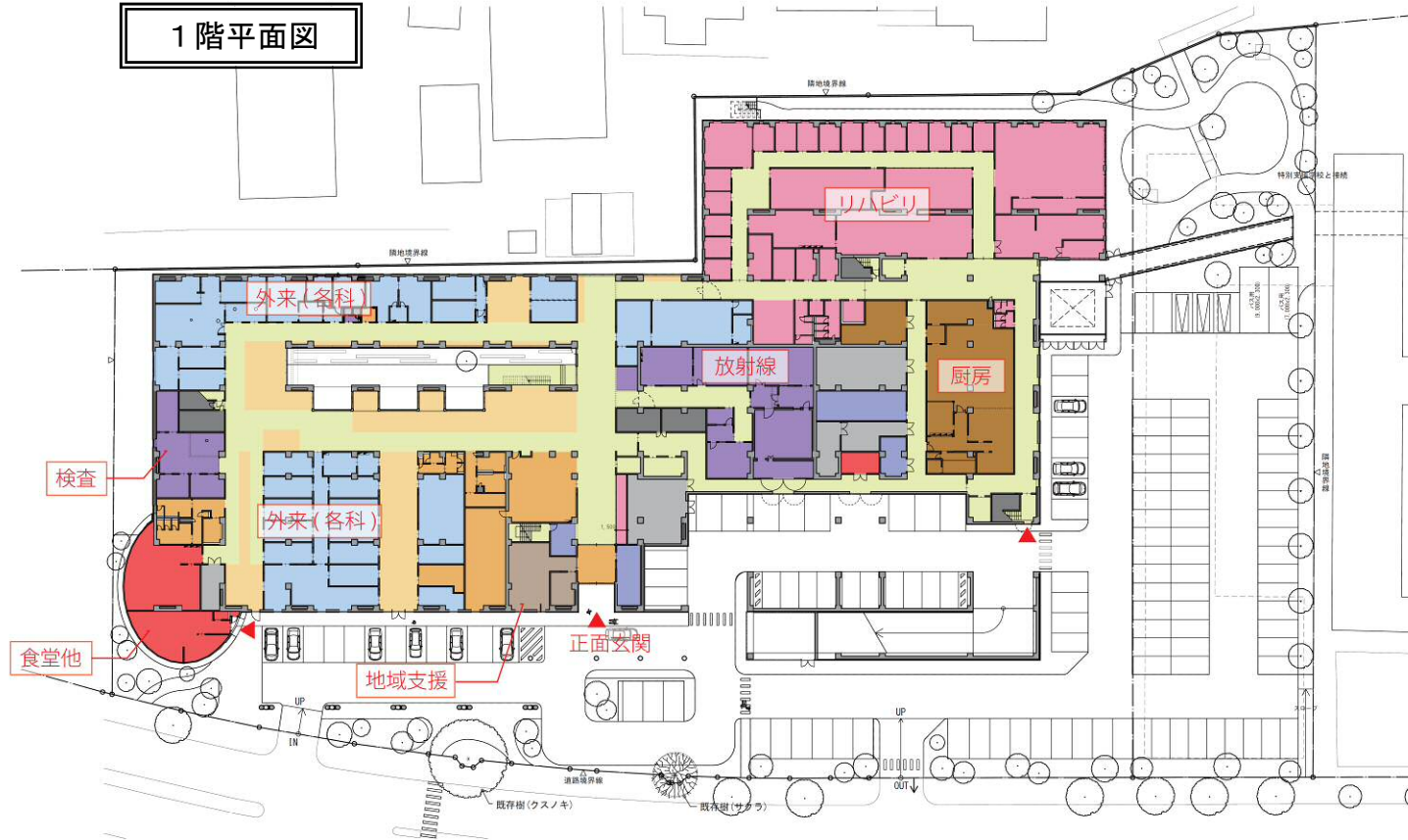


5 部門配置計画図（平成27年1月時点のイメージ）

凡例

外来(各科)	リハビリ	通園(児童)	厨房	薬剤・放射線・検査
外来(共用部)	病棟・住棟	デイサービス(成人)	食堂他	廊下・階段・EV
管理	手術	地域支援	機械室	出入口

1階平面図



3階平面図



2階平面図



4階平面図

